

令和5年度 第3回さいたま市民大学運営委員会 議事録

1 開催日時

令和6年1月9日（火） 午後2時から午後3時25分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

3 出席者

〈委員：11名〉

- ① 神保 富美子 委員長
- ② 山中 冴子 副委員長
- ③ 青木 光美 委員
- ④ 浅野 永子 委員
- ⑤ 井上 直也 委員
- ⑥ 加藤 恒 委員
- ⑦ 桑原 静 委員
- ⑧ 関根 公一 委員
- ⑨ 中川 敬三 委員
- ⑩ 羽諸 英臣 委員
- ⑪ 平田 利雄 委員

〈事務局：13名〉

生涯学習総合センター

- ① 館長 岸 聖一
- ② 参事兼副館長 中村 和哉
- ③ 主幹兼事業・企画係長 野口 みずほ
- ④ 事業・企画係主査 三井 響子
- ⑤ 事業・企画係主査 曾根 啓佑
- ⑥ 事業・企画係主事 小暮 裕貴
- ⑦ 社会教育指導員 渡邊 京子
- ⑧ 社会教育指導員 永井 紀美子
- ⑨ 青少年宇宙科学館 林 竜矢
- ⑩ うらわ美術館 前田 伽南
- ⑪ 大宮西部図書館 小峰 智仁
- ⑫ 大宮西部図書館 松尾 紀子
- ⑬ 博物館 矢野 慧太

4 欠席者名

〈委員：1名〉

① 関根 広美 委員

5 報告事項

(1) 前回の議事録について

6 協議事項

(1) 令和6年度さいたま市民大学各コース(案)について

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 報告内容

(1) 前回の議事録について、事務局から報告した。

10 協議内容

(1) 令和6年度さいたま市民大学各コース(案)について

事務局より、教養Ⅰ・Ⅱ、ファイナンシャル、さいたまの魅力、ビジネススキル、市民企画、メディカルの各コースについて説明をした。以下、質疑等の内容

【教養Ⅱコース】

神保委員長	インターネットが主題となっている講座であるが、記載されている講師の肩書が中小企業診断士となっている。内容と肩書があっていないように感じるが、問題はないのか。
事務局	講座内容は講師とも相談しており、問題ない。各講師はITに関する資格や別の肩書をお持ちの場合もあるので、広報の際は、内容と講師の情報がリンクするよう調整する。
桑原委員	シニアを主な対象とするのであれば、詐欺メールやパスワード漏洩などセキュリティ面のリスクについてより多く盛り込んだほうがいいのではないのか。
事務局	リスクに関しては第2回で触れていただく予定だが、他の回でも触れられる箇所があれば盛り込んでいただけるよう講師と調整する。

【ファイナンシャルコース】

中川委員	<p>講師がレオス・キャピタルワークス株式会社であるが、講師選定の理由は何か。投資信託の運用・販売を専門に取り扱う投資事業者がこうした講座を実施するのは、会社の業務と講座の内容が近すぎて問題があると思う。さいたま市の主催事業に参加している会社だから信用できる、という印象を受講者に与えてしまうと思うので、講師と講座内容は利害関係が全くないほうがよい。</p> <p>また、投資信託についての考え方も色々ある中で、特定の会社の方針を伝えることは受講者に誤解を与えてしまうのではないか。市や会社の注意と関係なく、受講者はそういう思い込みをしてしまうものなので、そうしたリスクは避けたほうがいい。</p>
事務局	<p>元々は、令和4年度の市民大学で投資や金融に関する講座を実施できないか神保委員長に相談したところ、投資に関する第一人者ということで、たまたま代表者をご親族ということもありご紹介をいただいたところである。それ以来お願いしているが、内容的にも受講者の満足度が高い。</p>
神保委員長	<p>当時、事務局が投資に関する講座の講師を探している中で、投資の第一人者として紹介したが、それ以降は事務局とレオスが直接交渉し調整している。</p>
事務局	<p>レオスが講義で自社製品の販売をすることはもちろんなく、投資はどのようなものか等投資一般の話をしていただいている。レオスが別の自治体と連携している例もあり、引き続きレオスと相談しつつ受講者に誤解を与えないように注意をしながら講座を開催したい。</p>
山中副委員長	<p>市民企画コースにも言えることだが、講師や事務局の意図と関係なく受講者が講師を信用する、影響を受けるということはあるので、そうしたことがない講座づくりが必要とも思える。</p>
平田委員	<p>肩書などが差し障りのない講師選定では、講師の力量により学びが深まらないということも考えられる。肩書も含め、名前を出し方を検討する必要があるのではないか。問題なければ個人名でもよいだろう。</p>
神保委員長	<p>運営委員会に諮る時期の問題もある。もし前回の委員会で具体的な講師依頼先の情報がありそれに対して意見があったなら、講師変更も可能だと思うが、すでに講師に声掛けしているタイミングでお断りするというのは講師にも迷惑になるし、委員会としての責任もある。今後は講師を依頼する前に委員会で改めて確認することなどが必要になってくるのかどうか。</p>

青木委員	NHK 等では、企業名を伏せて職責等をお知らせする方法を取っている。講師に打診の際には、企業名は出せないかもしれない、ということを伝えておくことも必要になるのではないか。
------	---

【ビジネススキルコース】

浅野委員	動画配信があると動画を後で見ればいいなどと学ぶモチベーションが下がってしまう受講生がいるのを懸念している。動画配信するのであれば、後で宿題があったり、質問したり、講師とコミュニケーションを取れる機会があるとよいのではないか。そのような工夫等はあるか。
事務局	このコースは4回、それぞれ別の講師が講義を行うので、宿題のようなことは難しいと思うが、YouTube 限定配信の際の工夫も含め、講師とも相談し受講者の学習意欲を維持する工夫をしていく。
加藤委員	受講しやすさを考えて、ビジネススキルは1回ずつに分けてどれでも受けたいものだけ受ける、といった方法は取れないか。
事務局	市民大学として、テーマに関して連続して講座を受けることで学びを深めるという趣旨があるため、全4回で1つのコースとして実施をしたい。

【メディカルコース】

関根委員	がんに関する講座や健康づくりの講座は、市立病院等で無料で実施しているケースもあると思うが、市民大学としてこのコースの第1回～第3回の各テーマを設定した意図や工夫した点は何か。
事務局	前回の運営委員会の時点では、講師を医師等に依頼して、がんや病後ケア・リハビリに特化した医療関係の内容を検討していたが、講座として重いテーマばかりになってしまう懸念があった。そもそもこのコースは健康寿命を延ばすための知識を学び、ウェルビーイングな生き方を目指すために設定したものであることから、がんや健康づくりに関する内容と、さいたま市にフォーカスした地域における様々な医療支援の制度・取組を併せて学べる内容にした。

青少年宇宙科学館、博物館、うらわ美術館、大宮西部図書館より、科学Ⅰ・Ⅱ、歴史、美術Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱの各コースについて説明をした。

以下、質疑等の内容

【科学Ⅰ・Ⅱコース】

井上委員	I・IIは、内容、講師ともに同じなのか。I・IIの応募者の分布に違いはあるのか。また、I-2に出席できなかった場合はII-2に参加できる、といったことはあるのか。
青少年宇宙科学館職員	I・IIとも同じ内容、同じ講師である。ロボットの数や部屋の大きさを考慮し、10人の定員としており、人数を増やすため2回の実施としている。人数が限られており講座自体の人気も高いため、コースをまたいでの参加は想定していない。

【歴史コース】

中川委員	「近世編(その1)」とあるが、「近世編(その2)」はいつなのか。
博物館職員	令和7年度の開催を想定している。
中川委員	「その1」と書いてあると、同じ年度に「その2」があるように思えるので、書き方を工夫したほうがいい。
博物館職員	分かりやすい表記を検討する。
神保委員長	歴史コースは参加者が多いイメージがあるので、定員が35から90に増えているのはよい。

【美術I・IIコース】

浅野委員	Iコースは招待券が付くとのことだが、IIコースはオンライン開催で渡す機会がないので招待券が付かないのか。
うらわ美術館職員	IIコースが関連しているコレクション展の観覧料は無料のため、招待券はない。
浅野委員	招待券の有無や展覧会が無料であることは、内容に書いたほうがアピールになると思うので、盛り込んでほしい。
うらわ美術館職員	他施設との兼ね合いも含めて検討する。

【文学I・IIコース】

関根委員	IIコースはかなりピンポイントな内容だ。情報ツールやメディアの歴史の中
------	-------------------------------------

	の初期ということで、どのような特徴や役割だったかを取り上げてもらおうと光る内容になるのではないかと思う。詳細について教えてほしい。
西部図書館職員	詳細な内容は講師と調整中である。現時点では活版印刷まで取り扱うと聞いている。
関根委員	できるだけ肉付けをして広い範囲でお願いしたい。

事務局より、地域ボランティア養成、プログラミング、IT スキル、パソコンの各コースについて説明をした。

【IT スキルコース】

加藤委員	抽選の場合39歳以下優先とのことだが、託児はあるのか。
事務局	託児は予定していない。
加藤委員	若い世代を呼び込むなら、託児があった方が参加しやすくなると思う。今回は無理でも、託児施設のあっせんも含めて検討して欲しい。
青木委員	Canva は無料ツールであることを概要などどこかで説明したほうがいい。何か必要になるのではないかと構えてしまうことがないようにしたい。
中川委員	そもそもなぜ39歳以下を優先する必要があるのか。
事務局	第1回の会議でも説明したが、市の総合振興計画で公民館でも若い世代の受講者数の増加を目標に掲げているため、優先する講座を設けている。
中川委員	39歳以下を優先する抽選とはどのように行うのか。39歳以下は全員当選で残りを抽選とするのか、あるいは39歳以下の割合を決めて抽選をするのか。
事務局	39歳以下は全員当選で、残りを抽選とする。これまでの市民大学応募状況でも39歳以下で定員が埋まり高齢者が受講できない、といった状況は起こっていないことから、高齢者の受講を閉ざすことにはならないと判断している。
神保委員長	39歳以下を優先するなら、年齢の下限はあるか。夏休み中であることから、小学生などの子どもでも受講も可能か。

事務局	可能である。しかし、今回の講座設定は時間が長く、小さい子供が一人で来ることは考えにくい。また、スマホに親しんでいる若年層は習わなくてもできたりするので実際に申し込みはないのではないかと考えている。主婦や働いている人たちが夏休み1日だけ休みを取れば参加できるということを想定してコースを設定した。
中川委員	高齢者のデジタル技術活用を推進するためには、高齢者にこそこういった講座を受講してもらおう方がいいのではないか。
事務局	いわゆるデジタルデバインド対策については、市内の各地区公民館でスマホ講座等を実施するなど、市全体として取り組んでいる。

【パソコンコース】

神保委員長	パソコンに触れている世代が増えている中、初心者コースは需要があるのか。
事務局	例年、特に年度当初のコースは100件を超える申し込みをいただくことも多く、抽選の関係で何度も申し込んでいただいている方もいるなど、需要は高いものと考えている。
中川委員	「令和5・6年度のパソコンコース同講座の受講者は除く」とある。初心者コースと応用コースはどちらもパソコンコースだが、両方受講することはできないのか。
事務局	パソコンコースでも初心者コースと応用コースのように講座内容が違うものは申し込み可能である。初心者コースを2回以上受けることはできない、という意味である。

1 1 その他

令和6年度さいたま市民大学募集案内の送付予定について案内した。

1 2 閉会